



川西IC橋上部工工事(矢田工業(株))



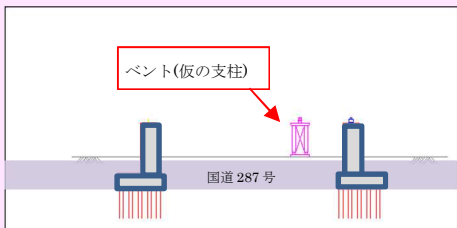
現場代理人・監理技術者よりひとこと

現場代理人より：現場は8月から翌2月の施工となります。熱中症対策から寒さ対策と一緒に働く仲間と共に体調管理を行って無事故無災害で竣工出来るよう頑張ります。

監理技術者より：川西IC橋(仮称)は、Bランプ橋、本線橋、Cランプ橋の3橋を施工します。橋桁架設時は夜間施工となり、現場付近は夜間通行止規制での作業となります。また、足場設置時は昼間片側交互通行規制での作業となりますので、ご理解とご協力をお願いします。

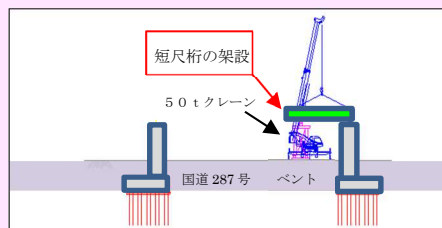
●架設工施工順序および施工方法●

1. ベントの設置



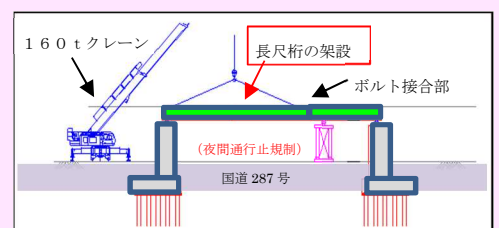
橋梁の架設において橋体を支持するためのベント(仮の支柱)を設置します。

2. 短尺桁の架設



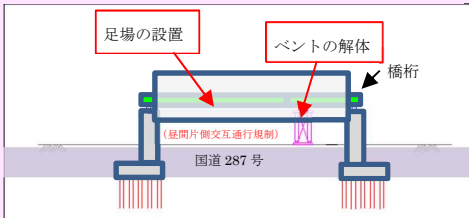
50tクレーンにより短尺桁をベント上へ架設します。この作業は、昼間交通規制なしで行います。

3. 長尺桁の架設



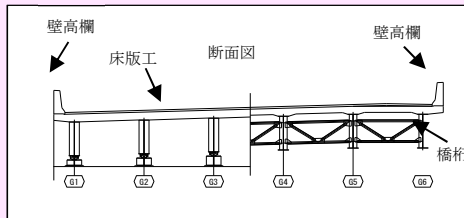
160tクレーンにより長尺桁を吊上げ架設し、ボルトにより接合します。この作業は、夜間通行止規制で行います。

4. ベントの解体、足場の設置

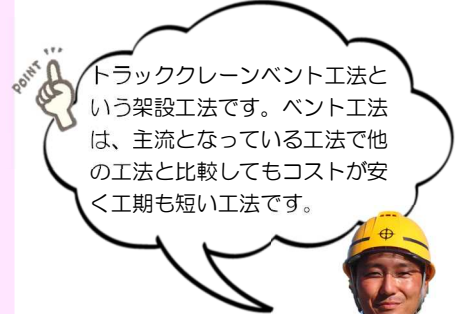


橋桁架設完了後、ベントを解体します。次工程として床版工(鉄筋コンクリート)の作業を行うための、足場を設置します。この時は昼間片側交互通行規制で行います。

5. 床版コンクリート工、壁高欄工



架設工完了後は、床版工(型枠組立、鉄筋組立、生コン打設)壁高欄工、排水設備工事、塗装工事を行い、最後に足場を解体し完成となります。



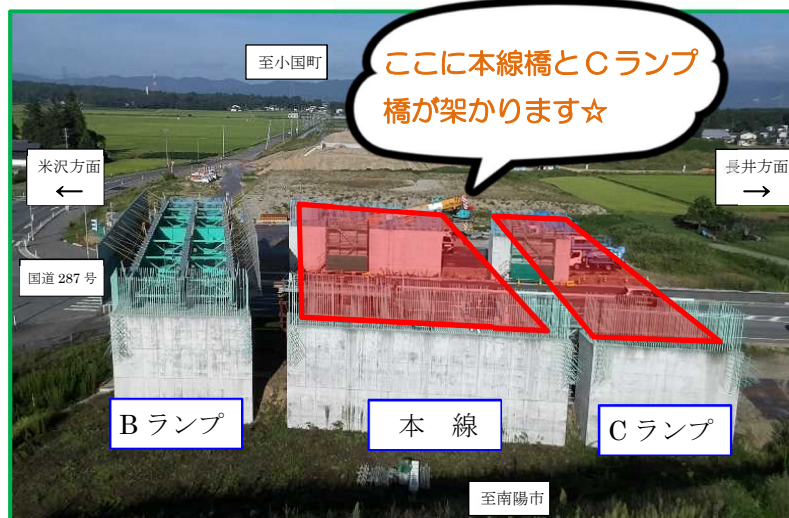
POINT !!

トラッククレーンベント工法という架設工法です。ベント工法は、主流となっている工法で他の工法と比較してもコストが安く工期も短い工法です。



担当技術者 小山 和弘さん

●施工状況●



ここに本線橋とCランプ橋が架かります☆



夜間施工中!

Bランプ橋が架かりました☆



～国道121号の応急復旧工事が始まりました～

8月3日から大雨により道路崩落被害が発生し、国道121号山形県米沢市入田沢地内が全面通行止めとなっています。8月26日より国の権限代行で1車線を確保する応急復旧を進めています。地質調査結果等を踏まえた設計が完了し、9月17日から工事に着手しています。

【現場状況】

●工事着手前



●9月28日時点

脆弱な地層範囲と崩落箇所を避け、山側の1車線に延長約70mの仮橋を設置し、総延長170mの仮設道路を作っています。



1日も早く1車線を確保し、片側交互通行での開通を目指して安全第一で工事を進めています。皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。



ご意見・お問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所 米沢監督官詰所

〒992-0011 山形県米沢市中田町 260-2

TEL : 0238-37-5570

ホームページアドレス [http:// www.thr.mlit.go.jp/yamagata/index.html](http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/index.html)